

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年4月19日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105180
法人名	有限会社ソフィア・インター・ナショナル
事業所名	グループホーム山田の里
所在地	鹿児島県鹿児島市山田町44番地3 (電話) 099-264-0850
自己評価作成日	平成30年2月24日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年3月31日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームの理念である本人らしい生活の実現や残存能力の助長、本人の思いに寄り添いその人らしく安心して暮らして頂けるように対応しています。入居者様の日頃の状態を把握し、異常がある時には早期に気づき対応できるように、協力機関との連携を密に行うようにしています。また、季節ごとの行事を大切にしており、その時々合った食事を提供し、季節を感じていただけるよう工夫しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

近隣地区には小学校や中学校、郵便局・飲食店・スーパーや医療機関が並んでいる。少し足を延ばせば大型スーパーや書店もあり、利便性のよい環境にある。  
理念は昨年、全体会議の中で管理者の発案で見直しをして、申し送り時や会議で唱和して意識付けし、管理者と職員はその理念を共有し実践に繋げている。  
運営推進会議ではメンバーが固定化していたが、地域・行政・民生委員・家族など少しではあるが参加が増えてきた。今後はさらに家族の参加が増える様工夫し、参加者で報告や意見交換などを行い、サービスの質の向上に繋げるよう努めていく予定である。  
身体拘束をしないケアでは、職員は内部や外部研修に参加し知識を研鑽し、大声はださない様に努め、スピーチロックは常に意識しながらのケアに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	本人らしい生活本人の思いに寄り添った生活が送れるようにカンファレスや連絡ノート、全体会議を通して管理者と職員が共有を行っている。	昨年理念の見直しをしている。事務所や談話室に掲示している。見直す事で、職員の意識付けや振り返りの機会となった。全体会議やミーティングで唱和し意識を高め合い、全員で理念を共有し実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	地区の回覧版を通したり、消防訓練で近隣住民への声かけや原田学園との交流を行っている。	町内会へは加入している。回覧版での情報収集や消防訓練には参加をもらっている。ボランティア・保育園また学生の実習生も受け入れている。地域の行事への参加が少ないので、今後は参加できるよう検討する予定である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	看護学生の実習の受け入れを行い、認知症の理解を深めてもらう事として行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議のメンバーの固定から幅広げる事で事業所の課題の意見を取り入れたり地域との交流の入り口として活かしている。	運営推進会議のメンバーが固定化している事から、メンバーを拡げる工夫をした。結果、地域・行政・民生委員・家族などの参加が増えてきた。会も活動報告や状況報告・事故報告また行事を抱き合わせて多くの参加者と話し合いの場を持てるようになった。そこでの意見をサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市との連絡、相談や研修に積極的に参加を行い事業所のケアサービスに反映できるようにしている。	日頃より連携を図り、協力関係を築くように努めている。空き状況の報告やまた研修案内があれば外部研修へ参加している。相談・報告に対して助言対応してもらうなどの連携を図りサービスの質の向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員が身体拘束の禁止となる具体的な行為の知識を持ち研修も重ねて正しい理解ができるようにしています。又、入居者様が命に関わる場合には、家族さんの同意の上、やむを得ず行うとしています。	内部・外部研修を年間数回行っている。現状身体拘束をしている利用者があるが、職員全員で定期的に話し合っている。職員同士でも話し合いながら、疑問点については管理者から指導してもらうなど、日々のケアの中でも意識して支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についての知識を深める事、研修会の参加を行い得た知識を職員で共有を行うようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度に関わりが近いと思われた入居者様に関して、必要性の有無を確認を行いながら学ぶ機会を得ました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約内容の説明を納得が出来るように行い、不安や疑問点が解消された時点で契約を行うようにしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員の業務が負担と感じている場合、原因を探り業務の見直しを早急に行うようにしています。又、運営推進会議を通して内容の情報が伝達できるようにしています。家族さんの面会時に意見の有無の確認を行っています。	家族の参加の多い、家族交流会や敬老会また日常の面会時に意見や要望を聞き出すよう努めている。出された意見・要望は職員間で話し合いサービスの質の向上と運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	看護者による2ユニットの統括を行いながら、全体会議で意見を取り入れ検討会ができるようにしている。又、個々での相談時に早期に対応と年に1回の個人面談を行っている。	管理者は年1回の個人面談や全体会議などでも意見が出し易い雰囲気作りに努めている。職員とは不自由な点や気付いた事はその都度話し合いをしている。出された意見・提案は運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に1回の昇給や希望休を取得しやすい環境作りに力を入れています。又、介護職のスキルアップの為に研修会への参加や勉強会を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>今後、介護実務者研修受講や他のグループホームとの交流の検討を行いスキルアップにつながるようにしたいです。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流を早急に実現できるように、計画を立てたいと思います。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居当初は、環境変化により不穏状態に陥りやすいです。介護職が入居前の背景を把握し、本人が安心できるようなケアに努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居時に家族さんの思いや気になる点等がある時に適切に説明ができるように努めたいと行っています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>御本人や家族さんの思いを受け止め安心感を持ちながら生活が送れるように対応に努めます。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者さんとの関わりを声かけや傾聴を行い信頼感ができるように努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族さんの協力が必要時には相談を行い職員と家族と一緒にしながら、本人が安心して生活ができるようにします。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙や電話の取り次ぎが必要な時には行い、面会時には、談話ができる環境作りに努めています。	地域からの入所者が多く、友人知人の来訪がある。近所のスーパーへ職員と買い物に行ったり、家族の協力で墓参りや自宅へ帰られたりされる方もいる。馴染みの人と場所の関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者さん同志の関係性が上手くいかないと判断された場合、カンファを行い席替えや場合によっては、1階と2階との居室替えを行います。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	全てにおいてフォローを行う事は出来ていませんが、家族へその後の連絡を行う事はあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	聞き取りが困難な場合は本人の表情や言動を見ながら思いをくみ取り、本人らしく生活ができるように努めています。	日々の生活の中や利用者の表情やしぐさなどから思いや意向の把握に努めている。意思疎通が困難な場合には本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に情報収集を行うが、生活を送る上で変化が生じた場合改めて聞き取りを行う事もあります。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の日々の生活の中で、不穏状態や身心の変化に気づきがあった場合、介護職間で共有を行い対応に努めるようにします。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族様の思いや意向にできる限り沿うように、より良い生活を送る事ができるように各関係者から意見を取り入れるようにしています。	利用者や家族の個別の思いに応じたプランである。カンファレンスは職員で話し合っている。3ヶ月毎のモニタリングでは状況・状態に応じて見直し、現状に即した介護計画を作成している。必要に応じて計画の見直しをしている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録記入の実施と申し送りノートの活用を行い職員間の情報共有ができるように努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様の必要に応じて訪問診療・訪問歯科・医療機関などの柔軟な支援ができるようにしています。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問歯科・訪問薬局・訪問美容や看護学生さんによるボランティアなどの支援を頂きながらおひとりおひとりの生活を支えている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族様の希望するかかりつけ医の受診の支援と訪問診療・訪問歯科との契約を行い適切な医療が受けられるようにしています。	入所以前からのかかりつけ医となっているが、利用者や家族の希望で協力医療機関になっている方が多い。ほとんどが訪問診療である。他科受診や急変時もホーム支援になっている。定期受診は何か異常変化があったら報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携を行っている看護師への必要とする情報を伝言や書面で行い看護師から助言を頂くようにしています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時、医療機関から求められる情報の提供を速やかに行い又、退院時には情報収集を行い退院の流れがスムーズに行う事ができるようにしています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>早急に重度化や終末期に向けた指針の見直しを行い、本人や家族の意向を踏まえ早い段階から意志確認が出来るようにします。</p>	<p>重度化や終末期に向けたホームの方針はあり、指針の明文化は作成し、入所時に説明しているが、重度化に伴う意思確認書の作成は検討中である。職員も研修や勉強会を重ね、本人・家族の意向に沿った最大限の支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>研修会等を通して緊急時の対応が身につけられるようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回避難訓練の実施と自動通報装置の活用は行っています。今後、地震・水害の災害時避難も検討を行い地域との協力体制ができるようにします。</p>	<p>年2回のうち1回は消防立ち合い、1回は自主で訓練を行っている。近隣の地域住民にも参加をもらい避難時の役割もお願いするなど、管理者は日頃から関係性を大事にしている。避難場所も確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入室時のノックや本人が居室から離れている時は本人へ声かけを行っています。尊重の気持ちを持ちながらひとりひとりへの対応を心がけています。	利用者の人格を尊重し、プライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。職員会議やミーティング時でも機会を設けては話し合い職員の質の向上に向け取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様おひとりおひとりの気持ちに寄り添いながら適切な対応ができるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	決まり事に合わせて行うのではなく、無理強いを行わず本人のペースに合わせて支援を行うようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	2ヶ月に1回訪問美容と衣類もハンガーに掛けて置き自分で選ぶ事ができるようにしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嚥下体操やメニューの紹介を通して誤嚥の予防に努めています。手作りヨーグルトや誕生日の方の好みの提供、行事食の提供に心がけています。	献立は同じでユニット毎の調理である。季節の行事食や誕生日には利用者の好みの食事を提供している。力量のある利用者には調理の下ごしらえや台拭きなど手伝ってもらっている。外食は家族支援となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量のチェックや必要に応じて水分量のチェック、咀嚼の状態に合わせた食事形態を変えたり工夫を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声かけや介助を行っている。夜間にポリデント、週に1回の訪問歯科の利用の入居者さんも数人おられる。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本人の排泄状態に応じて対応を行い、声かけを行いトイレ誘導や本人の能力に応じて排泄支援を行うようにしています。	排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握し、個々に応じた声かけやタイミングでトイレ誘導し、排泄の自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝のヨーグルトと水分補給に心がけ、介護職で排便の有無の確認を引継ぎを行い対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	通常の入浴は午前に行っています。入浴を嫌がる時に無理強いを行わず時間を空けたり個々に合わせながらの支援を行うようにしています。	季節に応じて週2~3回の入浴だが、希望があればいつでも入浴出来る。入浴をためらう時は無理強いせずに、言葉掛けや時間の変更で気持ち良く入浴できる様工夫している。その日の状態を見極め、清拭や足浴に切り替えるなど、清潔保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自分の生活ペースを崩される事を嫌がる方がおられます。本人のリズムに応じて対応に努めるようにしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤管理にて分封を行い、内容確認の上服薬支援に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外出の気分転換や行事のレク時に1階と2階で合同で交流を行い楽しみながら生活ができるように取り組んでいます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候と状態を見てイチゴ狩りや花見、外食など家族さんの協力をお願いするなどしながら外出を行っています。	日常的には体調など考慮し個別の散歩や近くのスーパーへ買い物や車での買い物もある。全員参加は困難になっているが個別の花見や墓参りは家族の協力支援となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の自己管理が可能な方には、所持して頂き自分が買いたい物を自由に使えるようにしています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者様から電話の依頼時には、取り次ぎを行うなどの支援を行う時もあります。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>四季が変わる時や行事毎に壁紙の張替えを行い、季節感を感じて頂けるように工夫を行いながら取り組んでいます。</p>	<p>ホールに中庭があることで採光も取れ明るい。温度や湿度には十分配慮され快適な室内環境が保たれている。壁には行事の写真や作品が掲示されている。台所からは利用者の様子も伺え、調理の匂いからは五感が刺激され家庭的である。ソファやテーブルで思い思いに過ごせるよう工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアの中で畳部屋やソファコーナーがあり、気の合った入居者様同士、会話やテレビ観賞をされています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室に家族の写真を飾ったり、使い慣れた物を持ってきていただいたりして、居心地よく安心して過ごせるよう工夫しています。	ベッド・タンス・洗面台は備え付けである。利用者は自宅で使い慣れたタンスや椅子などを持ち込んだり、また家族の写真や飾るなど居心地よく過ごせる工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	転倒防止など安全面に考慮しながら、一人ひとりが出来る事を、職員の見守り、声かけ、介助のもと、出来るだけ自立した生活を送れるように工夫しています。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない